

令和元年第10回函館市教育委員会定例会 会議録

- 1 日 時 令和元年（2019年）10月21日（月） 午前9時30分
- 2 場 所 函館市立五稜郭中学校
- 3 出席者 辻教育長，藤井委員，小葉松委員，須田委員，青田委員
- 4 欠席者
- 5 事務局 堀田生涯学習部長，松田学校教育部長，吉本生涯学習部次長，
佐藤生涯学習部次長，佐賀井教育政策推進室長，東出管理課長，
大室教育政策課長
- 6 傍聴者 2人
- 7 付議事項
- 日程第1 議案第1号 市立函館高等学校学則の一部改正に関し，議決を求めることについて
- 日程第2 議案第2号 もとはこだて幼稚園の敷地の変更に關し，議決を求めることについて
- 議案第3号 函館市千歳図書室の敷地の変更に關し，議決を求めることについて
- 議案第4号 教育財産の廃止に關し，議決を求めることについて
- 日程第3 議案第5号 教育財産の廃止に關し，議決を求めることについて
- 日程第4 意見交換 令和2年度予算についての意見交換
- 日程第5 視 察 授業視察
- 日程第6 懇 談 五稜郭中学校教職員との懇談

■辻教育長

- 開会宣言 午前9時30分
- 議事録署名人に，藤井委員，小葉松委員を選任。
- 本日の日程のうち，日程第4，「令和2年度予算についての意見交換」を「秘密会」としたいが，いかがか。
- 異議がないので，秘密会とさせていただく。

- それでは、日程第1，議案第1号「市立函館高等学校学則の一部改正に関し，議決を求めることについて」を諮る

■学校教育部長

- 議案第1号「市立函館高等学校学則の一部改正に関し，議決を求めることについて」説明する。このたびの改正は，入学願書の記載事項から性別の欄および元号を削るものである。なお，施行日は公布の日とするものである。

■辻教育長

- 議案第1号について，何かあるか。

■小葉松委員

- 意見です。これはおそらく道内一律の取扱いなのだと思うが，個人的には疑問を感じている。性同一性障害等に配慮したものだと思うが，20歳前の子ども達というのは精神的にはものすごく揺れ動く時期で，個人的に何例か関わった症例もあり，自分は性同一性障害だということで治療したら後からやっぱり元に戻したいという事例もない訳ではない。最近では性教育関係の先生方の研究会などでもLGBTというテーマにするとものすごく人が集まると伺っているが，今の流れだけが正しいのかということに関しては医学的な疑問もたくさんあるということは皆さんの耳に入れておく。これは一律の取扱いなのでやらなければならないのだとは思いますが，私はここまでやってしまっているのかなと，現場で戸惑うこともあるのではないかという気がする。

■青田委員

- 入学願書はありだとしても，正式に合格して学校に書類を提出する時には，どうなるのかという疑問がある。学校現場では，まだ男女で分けなければならないことがあると思う。それがわからないまま入学させてしまっているのかというところの疑問である。

■小葉松委員

- 健康診断の時には1人ずつ男女を確認するのか。健康診断等は男子，女子を分けないと不自由である。

■辻教育長

- 確かにそのとおりである。教育活動していく上での配慮とはまた別なところかと思う。学校教育部長どうか。

■学校教育部長

- この問題については、中学校や小学校においてもいろいろな面で出てくるとは思うが、教育活動の中でも男女を分けなければならないもの、分けなくてもいいものがそれぞれあると思う。例えば、出席簿等は男女混合になるかと思うが、必要な活動においては男女を分けて行うということになると思う。そこは十分な配慮をしていくものだと考えている。

■辻教育長

- 現状では、小学校の入学式の入場の際は男女混ざった状況であり、一方で例えば中学校の卒業式は男子と女子で別々の列としているが、それは卒業式の中で合唱があり、男性の声と女性声を分けなければならないという理由からで、場面に応じて対応している状況だと思う。

■須田委員

- この改正を行うことによって入学願書を出した時点においては、男女の別はわからなくなるということでしょうか。

■学校教育部長

- そのとおりである。願書の中には明記されないもので、学校としてはわからない。

■藤井委員

- ちなみに内申書も同様に性別を記載する欄がなくなるのか。

■学校教育部長

- 内申書については、変更するという事にはなっていない。道の様式にはまだ性別を記載する欄がある。

■辻教育長

- 入学願書については、自分で記載する場合もあるので、そこに対する配慮であると思う。個人調査書については、学校から学校への手続きであるので、そちらは普通に考えれば今までどおりだと思う。

■辻教育長

- ある程度議論させていただいたが、案のとおりということによいと思う。議案第1号については、原案のとおり決定する。
- 次に、日程第2、議案第2号「もとはこだて幼稚園の敷地の変更に関し、議決を求めること」から議案第4号「教育財産の廃止に関し、議決を求めることについて」までを一括諮る。

■生涯学習部長

- 議案第2号から議案第4号までの3件について、一括して説明する。このたび提案する3つの議案は、本年3月31日をもって閉園したはこだて幼稚園の土地および建物を、今後、教育財産として利用する予定がないことから、市長部局に財産を引き継ごうとするものである。引き継ぎにあたって、同一敷地内に一体の建物として設置している千歳図書室との敷地境界を改めて精査した結果、それぞれの敷地を変更する必要性が生じたことから、敷地を変更したうえで、もとはこだて幼稚園の教育財産を廃止しようとするものである。

(※ 配付資料(図面)を用いて敷地境界の精査に伴う地積の変更について説明)

議案第2号「もとはこだて幼稚園の敷地の変更に関し、議決を求めることについて」は地積を減少するもの、議案第3号「函館市千歳図書室の敷地の変更に関し、議決を求めることについて」は地積を増加するものであり、議案第4号「教育財産の廃止に関し、議決を求めることについて」は、もとはこだて幼稚園の土地および建物の教育財産を廃止するものである。なお、廃止後は財務部が引き継ぎ、一般競争入札により、財産の貸付を行う予定であると聞いているところである。

■辻教育長

- 議案第2号から議案第4号について、何かあるか。

■須田委員

- これは何のために行うものなのか。

■生涯学習部長

- はこだて幼稚園が廃園になり、土地および建物について教育委員会としては使用する予定がないことから、まず教育財産としての用途を廃止し、財務部に財産を返却するものである。そして、財務部においても庁内でこの施設を使用する部局がないか確認したところ、使用する部局はないという結論に至ったとのことであるので、今後は一般競争入札で貸付を行うという整理になったものである。なお、面積について、これまではこだて幼稚園と千歳図書室の共有部分としていた駐輪場と駐車場の部分については、今後はあくまでも千歳図書室にかかわるものとして貸付を行う部分には含めず、共有部分ではなく千歳図書室の専用部分ということで見直しを行ったうえで返却し、財務部において今後貸付を行っていくということになるものである。

■藤井委員

- 貸付予定はあるのか。

■生涯学習部長

- これから財務部において募集を行う予定であるので、教育委員会では把握していない。

■藤井委員

- あの施設を借りた人が、自分たちの車や来訪者の車を停めるとなった時には、駐車場を貸し出すのか。

■生涯学習部長

- 貸し出しはしない。自分たちで必要な駐車場は準備していただくことになると思う。

■藤井委員

- 駐車場はなしという条件で貸付を行うということによいか。

■生涯学習部長

- そのとおりである。

■小葉松委員

- 少し話が外れるが、幼稚園にあった古い遊具の行き先は決まったのか。閉園式の際に、歴史のある由緒正しいメリーゴーランドがあると園長先生がおっしゃっていた。できれば同じように子ども達が集まるようなところに譲渡されれば良いと思う。

■管理課長

- もとはこだて幼稚園については、すでに不要備品の譲渡会を実施済みであり、メリーゴーランドについては、一旦、博物館で価値を鑑定するという事になっている。

■辻教育長

- 議案第2号から議案第4号については、原案のとおり決定する。
- 次に、日程第3、議案第5号「教育財産の廃止に関し、議決を求めることについて」を諮る。

■生涯学習部長

- 議案第5号「教育財産の廃止に関し、議決を求めることについて」説明する。本年3月31日に高盛小学校、金堀小学校との統合により閉校した千代ヶ岱小学校については、閉校後も「もと千代ヶ岱小学校」として教育委員会が土地および建物を所管しているところであるが、今後、教育財産として利用する予定がないことから廃止するものである。なお、廃止後は財務部が引き継ぎ、一般競争入札により、現状のまま売り払う予定であると聞いているところである。

■辻教育長

- 議案第5号について、何かあるか。

(意見なし)

■辻教育長

- 議案第5号については、原案のとおり決定する。
- 次に、日程第4、「令和2年度予算についての意見交換」を行う。
(秘密会につき、会議録省略)

■辻教育長

- 以上で「令和2年度予算についての意見交換」を終了する。
- 次に、日程第5「授業視察」および日程第6「五稜郭中学校教職員との懇談」に移る。
(授業視察)

(懇 談)

■終了宣言

- 正午

議事録署名人 藤 井 壽 夫
" 小葉松 洋 子

調製者庶務係 土 田 和 宏